

## 3月に向けて

代表取締役 三田雅憲

寒い日もありますが、暑くて喉が渇くような日も少しずつ増えてきております。新型コロナウイルスもワクチンが到着し、医療関係者より接種が始まりました。少しでも感染者が減り、元の生活に戻ればと願わざるを得ません。社員皆様もまだまだ油断できませんので、十分に気を付けて下さい。

3月には、早いもので会長の1周忌になります。今改めて考えた時に、仕事に対しては妥協のない厳しい親父ではありましたが、人間として非常に情の深い人でもありました。私にとってそのことが、30代や40代の頃にはあまり理解できませんでした。50代半ばの今になって少しではありますが、分かってきているようにも思えます。責任感が強く、親方気質で人望がありました。私自身なかなか近づきそうにはありませんが、「職人（同僚）を大切に、家族を大切に、誠実に生きる」と身をもって教えてくれたんだと今は思います。時代の変化に敏感で、自分の時代が移っていつていることを察知するやささと立場を譲り、全てを私に任せてもらいました。その潔い姿は、周りの方から見てもあっぱれであったようです。これは会長が、利他の精神に長けておられたからだと思います。肩書などにとらわれず、その人そのものをしっかりと目を見開いてみて、信用できるか否かを見極める人でもありました。そんな会長の過去に作成して頂いたユーチューブや、記事から見聞きできますので、皆さんも是非アーカイブしてもらいたく思います。

現在、時代は二極化しているように感じます。大きくは利己主義（自己（中心）主義）と利他主義です。先般のアメリカの大統領や、中国の現指導者は利己主義の国家運営をしているように私には映ります。

他人の文化や言葉など、アイデンティティを構成するコア（中心）を否定して、排除あるいは同化しようとしています。

元々、アメリカや中国も多民族でそれぞれの民族の特性（文化や価値観）を尊重して相乗効果（化合（あわさって）してすばらしい物質が生まれる）で発展してきました。各自が素晴らしい文化や、価値観を持っておりました。しかし、そういった自分の文化や価値観を十分に理解せず、流されている方々を最近は多く見受けます。

では、自分の（文化や）価値観をどうやって磨いていくのか？「それは異なる文化を持った人々と出会い、価値観と価値観をぶつけ合うしかない、そしてコミュニケーションを深めていくことだ。」

と元 伊藤忠商事の丹羽氏は述べておられます。いろいろな人の価値観や文化に触れて（知り）それを尊重しながら、共に発展できるように考えていく。このことは仕事においても社内での仕事だけではなく、お客様をはじめとする外部の人々の声や意見を聞いて、共鳴し合うことも大切なことでもあります。

私ども光栄プロテックは、今年新しい社員の加入で古い会社ながら若い社員が、たくさん所属しています。このことは、未来がますます良くなる可能性を秘めております。今期あと一ヶ月ですが、今期仕事が少なくいろいろな感じたことを来期に十二分に生かしていきように、各自責任感と誠実な任命感で頑張ってもらいたく思います。